



図書館見学会を実施しています

町内の保育園の年長クラスを対象に、図書館見学会を実施しています。

たくさん本があることや、普段は見られない書庫の移動式書架を見てびっくりしていました。



【5/16 犀川のそみ保育園のおともだちが遊びに来てくれました。】

新刊案内

《小説》

- 『朝星夜星』 朝井まかて(著) PHP 研究所
- 『うたかたモザイク』 一穂ミチ(著) 講談社
- 『マイ・リトル・ヒーロー』 沖方丁(著) 文藝春秋
- 『とりどりみどり』 西條奈加(著) 祥伝社
- 『新・教場』 長岡弘樹(著) 小学館
- 『キングメーカー』 本城雅人(著) 双葉社
- 『街とその不確かな壁』 村上春樹(著) 新潮社
- 『花だいこん』 山本一カ(著) 光文社
- 『虚心』 吉川英梨(著) 幻冬舎
- 『歳はトルもの、さっぱりと』 石井ふく子(著) 中央公論新社
- 『おやじはニーチェ』 高橋秀実(著) 新潮社

《その他》

- 『古代日本の歩き方』 瀧音能之(著) 青春出版社
- 『落日の工藤会』 西日本新聞取材班(著) KADOKAWA
- 『介護事業の守り人』 田畑陽一郎(著) 幻冬舎メディアコンサルティング
- 『江戸の衣装と暮らし解剖図鑑』 菊地ひと美(著) エクスナレッジ
- 『70歳からの軽やかな暮らし』 石黒智子(著) PHP エディターズ・グループ
- 『母の味、だいたい伝授』 阿川佐和子(著) 新潮社
- 『絵付けの教科書』 有坂多絵子(著) 誠文堂新光社
- 『高倉健、最後の季節。』 小田貴月(著) 文藝春秋

6/17は“もこもこ”のおはなし会です。

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

7/15は“きのこの子”のおはなし会です。

おはなし会(会場:本館) 0~2歳くらい(11:00~) 3歳くらいから(11:00~)

休館日 毎週月曜日 毎月最終木曜日 開館時間 本館 10:00~18:00 分室 12:30~17:00

※最新の情報はホームページをご確認ください。

図書館員おすすめの本

『野生のロボット』 ピーター・ブラウン(作・絵)
前沢 明枝(訳) 福音館書店(2018)



自分で学習して会話も出来る新品のロボットが、偶然無人島に流れ着いたら、一体どうなる?ファンタジーのようで現代社会についても考えさせられる物語です。続編も併せてお楽しみください。 [K]

『ナポレオンを咬んだパグ、死を嘆く猫』
ミミ・マッシュズ(著) 川副智子(訳) 原書房(2022)

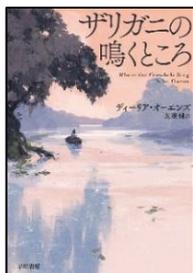
ヴィクトリア女王お気に入りの犬たち。英国初のキャットショー。18~19世紀の絵画や新聞・書簡を通して見えてくる人と動物たちの物語。それぞれのエピソードから当時の空気感も感じられておもしろい。 [Ma]



『ザリガニの鳴くところ』
ディーリア・オーエンズ(著) 友廣 純(訳)
早川書房(2020)

2021年本屋大賞翻訳小説部門第1位になり、映画化もされた話題作。6歳で家族に捨てられ、湿地で1人生きのびてきた少女カイアに、ある日殺人事件の容疑がかかる。殺したのはカイアなのか、それとも…?

[しっぽ]



『TIMELESS PARIS』
マラン・モンタギュ(著) 加藤 かん子(訳)
ホビージャパン(2022)



フランスで長く続く工場や老舗を20軒紹介しています。アンティークな金具や手芸品、職人が織りなす技の作品など、古き良きものを受け継いでいくパリを、満喫できる1冊。 [凜]

『金環日蝕』 阿部暁子(著)

東京創元社(2022)

老女がひったくり被害にあった。知人の大学生二人は犯人を探すことに…。そのうち二人は犯罪に手を染める人の心情に妙に納得していく。続きが気になって一気に読んでしまうミステリーです。

[Dream]



【編集後記】

雨の季節がやってきました。最近は降り方が極端で大雨の予報はちょっと怖くなってしまいます。本にとっても水は天敵です。濡れたら紙がふやけ、元には中々戻りません。雨降りに図書館をご利用される際は、本の取り扱いにできるだけご注意ください。 [Ma]



図書館ホームページ